

第七十五回 帝國議會 貴族院 昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案
昭和十二年法律第八十四號中改正法律案

職員健康保險特別會計法案
作業會計法中改正法律案

造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル法律案

昭和十三年法律第五十三號中改正法律案
臺灣事業公債法中改正法律案
臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

朝鮮事業公債法中改正法律案
臺灣私設鐵道補助法中改正法律案

委員氏名

- 委員長 子爵西尾 忠方君
- 副委員長 男爵東郷 安君
- 公爵鷹司 信輔君
- 侯爵池田 宣政君
- 侯爵久我 通顯君
- 伯爵溝口 直亮君
- 子爵梅小路定行君
- 子爵綾小路 護君
- 塚本 清治君
- 男爵大藏 公望君
- 男爵水谷川忠鷹君
- 西野 元君
- 土方 久徵君
- 堀 啓次郎君

吉村友之進君 野村 徳七君 風間八左衛門君 米原 章三君

昭和十五年三月七日(木曜日)午前十時四分開會

○委員長(子爵西尾忠方君) デハ只今カラ會議ヲ開キマス、昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外九件ヲ議題ト致シマシテ、政府ノ御説明ヲ煩シタイト存ジマス。

○政府委員(木村正義君) 當委員會ニ付託ニ相成リマシタ法律案ノ中、先ツ昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ト致シマシテ、現行ノ震災善後公債法及道路公債法ニ依ル公債ヲ發行致シマスル外、歳入ノ不足ヲ補填スル爲ノ公債ヲ發行ヲ要シマスルノデ其ノ起債ノ權能ヲ得ル必要ガアルノデアリマス、即チ昭和十五年度一般會計ノ歳出總額ハ、今回提出致シマシタル追加第一號豫算分ヲ加ヘ五十八億八千六百餘萬圓ニ對シ普通歳入四十億七千七百四十餘萬圓並ニ前年度剩餘金七千五百萬圓ヲ充當シテ、尙不足スル十七億二千八百十餘萬圓ハ、之ヲ公債財源ニ依ルノ必要ガアルノデアリマシテ、此ノ内現行ノ公債法ニ依リ調達ナシ得マスル震災善後公債分二百五十餘萬圓及道路公債分千三百六十餘萬圓ヲ差引キ十七億千二百萬餘圓ヲ調達スルガ爲ニハ、歳入補填公債十七億千二百萬圓ヲ起債スルノ必要ガアルノデアリマス、次ニ從來ノ例ニ依レバ昭和十五年度ニ於キマシテモ、歳出豫算中若干ノ金額ハ翌年度ニ繰越サル、結果ニナルデアラウト存ゼラレマス、其ノ繰越額ノ財源タル公債ハ、之ヲ其ノ翌年度ニ於テ發行シ得ルコトトスルノ必要ガアリマシテ、本法律案ノ提出致シマシタル次第デアリマス、尙右ハ當初提出致シマシタル總豫算案ト、今回提出致シマシタル追加豫算第一號分トニ伴フモノデアリマスカラ、御手許ニ配付シテアリマスル法律案ト、之ガ修正書トヲ御參照願ヒタイト存ジマス、次ニ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、支那事變ニ關スル經費ニ付キマシテハ第七十一回、第七十二回、第七十三回及第七十四回ノ各帝國議會ノ協贊ヲ經マシテ、其ノ財源ニ充ツル爲ノ公債發行ヲ爲シ得ル權能ヲ得テ居ルノデアリマスカ、事態ノ推移ニ伴ヒマシテ、更ニ臨時軍事費四十四億六千萬圓ノ追加計上ヲ必要ト致シマスル處、其ノ所要財源中七億八千六百十餘萬圓ニ付キマシテハ、一般會計及各特別會計ヨリノ繰入金、軍事費納金等ヲ以テ充當シ、三十六億七千三百八十餘萬圓ニ付キマシテハ、之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマスル爲、昭和十二年法律第八十四號中ノ公債發行限度ヲ増額スルノ必要ガアリマス、次ニ職員健康保險特別會計法案

提出ノ理由ヲ申上ゲマス、昨昭和十四年四月公布セラレマシタル、職員健康保險組合ガ職員健康保險ノ保險者ト相成リ居リ、政府ハ職員健康保險組合ノ組合員ニアラザル被保險者ノ保險ヲ管掌スルコトトナルノデアリマスカ、本事業ノ經營ニ關スル政府ノ歳入歳出ハ、他ノ政府ノ經營スル保險事業ノ場合ニ於ケルト同様ノ一般會計ト區分經理スルノヲ適當ト認メマシテ、特別會計設置ニ關スル本法律案ヲ提出致シタル次第デアリマス、次ニ作業會計法中改正法律案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、海軍燃料廠ノ据置運轉資本ハ、現行作業會計法第二條ノ規定ニ依リマスレバ二百萬圓ト相成ツテ居ルノデアリマスカ、同廠ニ於ケル事業量ハ近年著シク増大シテ參リマシタノデ、從來ノ据置運轉資本ヲ以テシマシテハ、其ノ作業遂行上多大ノ困難ヲ來シテ居リマスルノミナラス、同廠諸設備ノ整備擴充モ漸次實現ノ途上ニ在リマスル關係上、右困難ノ程度ハ益々増加セムトスルノ傾向ヲ示シテ居リマスルノデ、此ノ際前述ノ法定額ヲ六百萬圓ニ増額シ、其ノ不足額ハ事業ノ狀況ニ應ジテ政ノ許容スル所ニ從ヒマシテ、漸次一般會計ヨリ之ヲ繰入ル、コトトスルノ必要ヲ認メ、本法律案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス、次ニ造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル法律案提出ノ理由ハ、補助貨幣ノ需要増加ニ伴ヒマシテ、造幣局ノ現在ノ設備能力ニ依リマシテハ其ノ需要

ヲ充足スルコト困難トナツテ參リマシタルノデ、之ガ製造能力ノ増大ヲ圖ル爲、昭和十五年及昭和十六年度ニ互ル繼續費三百萬圓ヲ以テ、同局東京出張所ニ貨幣製造工場其ノ他ヲ新營擴張スルコトヲ致シマシタルノデアリマスルガ、之ガ諸設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ充用スル爲、造幣局資金ノ内三百萬圓ヲ、昭和十五年及昭和十六年度ニ互リ一般會計ニ繰入ル、等ノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタルデアリマス、次ニ昭和十三年法律第五十三號中改正法律案提出ノ理由モ、本會議ニ於テ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、印刷局ノ据置運轉資本ハ現行ノ作業會計法第二條ノ規定ニ依ル百萬圓ト、昭和十三年法律第五十三號ニ依ル据置運轉資本ノ一時補足金四百萬圓ト相成ツテ居ルノデアリマスガ、印刷局ニ於ケル事業量ハ近年著シク増大致シマシタル關係上、從來ノ据置運轉資本ヲ以テシマシテハ、其ノ作業遂行上時ニ困難ヲ伴ヒマスルノデ、此ノ際前述ノ昭和十三年法律第五十三號ニ規定スル借入金ノ法定額ヲ七百萬圓ニ増額致シマシテ、据置運轉資本ニ不足ヲ生ジマシタル場合ニ、一時補足シ得ルコトトスルノ必要ガアリマスル爲、本法律案ヲ提出致シマシタルデアリマス、次ニ臺灣事業公債法中改正法律案提出ノ理由ハ、臺灣總督府特別會計ニ於ケル既定繼續費鐵道建設費ニ追加致シマシタル高雄港臨港線及新高港臨港線建設工事ニ要スル經費九百四十八萬圓並ニ既定繼續費臺北及高雄驛改良費ヲ改稱シテ停車場改良費トシ、右繼續費ニ追加致シマシタル南部停車場設置費及新竹驛、新營驛及花蓮港驛改良ニ要スル經費六百八十四萬圓、合計千六百三十二萬圓

ノ内千六百萬圓ハ、同特別會計歲計ノ現情並ニ其ノ經費ノ性質ニ顧ミマシテ、之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタル爲、現行ノ臺灣事業公債法ニ依ル公債ノ發行限度ヲ千六百萬圓ダケ増加スルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタルデアリマス、次ニ臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案提出ノ理由ハ、臺灣官設鐵道用品資金ハ現行ノ臺灣官設鐵道用品資金會計法第二條ノ規定ニ依リマスレバ百萬圓ト相成ツテ居ルノデアリマスルガ、臺灣ニ於ケル官設鐵道事業ノ増大ニ伴ヒマシテ、臺灣官設鐵道用品資金特別會計ニ於ケル歲入歲出モ亦著シク増加致シマシタル結果、從來ノ資金額ヲ以テシマシテハ、本會計本來ノ機能ヲ發揮スルコト困難トナルニ至ルノ惧アル狀況ナルニ顧ミマシテ、本資金ノ法定額ヲ二百萬圓ニ増額シ、其ノ不足額ハ臺灣官設鐵道事業ノ狀況ニ應ジ、財政ノ許容スル所ニ從ヒマシテ漸次臺灣總督府特別會計ヨリ之ヲ繰入ル、コトト致シマスル等ノ爲、臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正ヲ爲スノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタルデアリマス、最後ニ朝鮮事業公債法中改正法律案提出ノ理由ハ、朝鮮總督府特別會計ニ於ケル既定繼續費鐵道建設及改良費、道路修築改良費、港灣修築改良費及送電施設費ノ追加額等二億九千五百五十餘萬圓中二億八千六百九十餘萬圓ニ付キマシテハ、同特別會計歲計ノ現情並ニ其ノ經費ノ性質ニ顧ミマシテ、之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタル處、鐵道建設及改良既定額ノ内公債財源ニ依ル豫定ナリシモノヲ、普通財源支辨ニ振替ヘマスルモノ等ガ千七百餘萬圓アリマスル爲、差引二億

六千九百九十萬圓ダケ現行ノ朝鮮事業公債法ニ依ル公債ノ發行限度ヲ増加スルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタルデアリマス、以上説明致シマシタル各法律案ニ付キマシテハ、何卒御審議ノ上御贊成アラムコトヲ希望スルデアリマス

○委員長(子爵西尾忠方君) 先刻委員長ヨリ申上ゲマシタル臺灣私設鐵道補助法中改正法律案ニ付キマシテハ、拓務大臣ヨリ御說明ガアルサウデアリマス、此ノ際拓務大臣ヨリ御說明願ヒマス

○國務大臣(小磯國昭君) 臺灣私設鐵道補助法中改正法律案提出ノ理由ヲ御說明致シマス、臺灣ニ於テ同法ニ依リ現ニ補助金ヲ交付シツ、アル私設鐵道ハ、臺北鐵道株式會社ノ經營ニ係リマスル臺北萬華新商店新設間延長十軒四分及臺中輕鐵株式會社ノ經營ニ係リマスル臺中州豐原・土牛營林所貯木場間延長十三軒一分ノ二鐵道デアリマスガ、臺灣私設鐵道補助法ニ依リマス、其ノ補助期間ハ基本期間ヲ營業開始ノ日カラ十五年トシ、臺灣總督ニ於テ必要アリト認メマシタル場合ハ更ニ五年ヲ限リ之ヲ伸長シ得ルコトニナツテ居リマスルノデ、右補助鐵道中臺北鐵道株式會社ノ補助期限ハ昭和十五年中ニ滿了スルコトトナツテ居リマス、然ルニ右鐵道ハ未ダ業續進展豫期ノ如ク擧ラズ、即チ當分政府カラ相當ノ補助ヲシナケレバ經營困難ノ狀態デアリマス、サウシテ此ノ鐵道ハ臺灣ノ地方開發上重要ナル鐵道デアリマシテ、又國營代行線タルノ意義ヲモ有シマスルニ鑑ミマシテ、之ガ助成上必要ニ應ジ更ニ五年間延長シ得ルノ途ヲ拓クコトト致シマシタル、

尙補助方法ニ付キマシテモ金利ノ著シク低下致シマシタル經濟界ノ趨勢ニ照シ、又内地、朝鮮トノ權衡ヲモ考慮致シマシテ、此ノ際補助率及益金留保率ヲ引下ゲ、所謂補助基本期間及伸長期間ヲ通ジ、補助率ハ一率ニ之ヲ五分トシ、又益金留保率ハ之ヲ一分ト致シタルデアリマス、サウシテ現ニ補助ヲ受ケツ、アル鐵道ニ對シマシテハ、所謂既得權ヲ尊重シマシテ、現在ノ補助期間滿了ノ日ノ屬スル營業年度ノ末日迄ハ仍チ從前ノ例ニ依リ補助スルコトト致シタルデアリマス、何卒御審議ノ上御協贊アラムコトヲ御願ヒ致シマス

○委員長(子爵西尾忠方君) 御諮リ致シマスガ、此ノ際政府ニ對シテ參考資料ノ御要求ガアリマスレバ御申出ヲ願ヒマス

○風間八左衛門君 衆議院ニ於テ提出サレマシタル參考資料ヲ此ノ委員會ニモ提出シテ戴キタイト思ヒマス、又臺灣事業公債以下四件ハ衆議院デ併託サレテ居リマセヌカラ、其ノ方モ更ニ要求シテ戴キタイト

○委員長(子爵西尾忠方君) 承知シマシタル、ソレデハ大體只今御說明ニナリマシタル順序ニ依ツテ御質疑ヲ願ツタ方ガ、便宜カト存ジマス

○風間八左衛門君 本日ハ只今御說明ヲ承ハツタ程度ニ於キマシテ、更ニ我々質問致シマス上ニ付テハ多少研究ヲ要スルト思ヒマスカラ、本日ハ此ノ程度デ御止メニナツタラ如何デスカ

○委員長(子爵西尾忠方君) 如何デスカ御異議ガナケレバ左様致シタイト存ジマスカ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵西尾忠方君) ソレデハ本日

ハ此ノ程度ニ於キマシテ委員會ヲ散會致シマス、明日ハ速記ノ都合ニ依リマシテ午前中ハ差支ガアルサウデアリマスカラ、午後一時半カラ御集リヲ願ヒタイト思ヒマス、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午前十時三十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵西尾 忠方君

副委員長 男爵東郷 安君

委員

侯爵池田 宣政君

子爵綾小路 護君

塚本 清治君

男爵大藏 公望君

男爵水谷川忠鷹君

西野 元君

土方 久微君

吉村友之進君

野村 徳七君

風間八左衛門君

國務大臣

拓務大臣 小磯 國昭君

政府委員

大藏政務次官 木村 正義君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

大藏書記官 前田 克巳君

海軍主計中將 武井 大助君

拓務參與官 男爵加藤 成之君

拓務省管理局長 副島 勝君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

臺灣總督府財務局長 森岡 二郎君

臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君

保險院總務局長 佐藤 基君

保險院社會保險局長 清水 玄君

昭和十五年三月七日印刷

昭和十五年三月八日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局